



広島大学

# 環境報生口書

2021



Environmental Report 2021

## 目次

● 理念・環境基本理念・行動方針	2
● 大学概要	3
● 環境管理体制	5
● 環境活動（2020年度の実績）	5
・ 環境教育・研究の推進	
・ 社会貢献の推進	
・ 自然環境の保全	
・ ESCO（Energy Service Company）事業	
● 環境負荷削減	7
・ エネルギー消費状況と取組	
・ 水投入量と削減対策	
・ コピー用紙購入量と削減対策	
・ 廃棄物発生量と削減対策	
・ マテリアルバランス	
● 環境報告書ガイドライン（2018）との対照表	12
● キャンパスマップ	13

### ■ 編集方針

本報告書は、本学の環境活動について、構成員のみならず広く学外関係者にもご理解いただくために作成しております。

なお、本報告書は、本学の公式ウェブサイトにも掲載しております。

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/about/initiatives/kankyo>

### ■ 報告書対象組織

全キャンパス（学生宿舎・職員宿舎を除く）

### ■ 期間

2020年4月～2021年3月

### ■ 発行日

2022年9月

### ■ 報告対象分野

環境的側面、社会的側面

### ■ 準拠基準等

- ・ 環境配慮促進法
- ・ 環境報告ガイドライン（2018）

### ■ 編集部署

広島大学財務・総務室施設部

### ■ お問い合わせ先

財務・総務室 施設部 施設企画グループ  
〒739-8512 広島県東広島市鏡山一丁目2-2  
電話：082-424-6102  
FAX：082-424-6110  
E-mail：skikaku-chosei@office.hiroshima-u.ac.jp

表表紙の写真 「東広島キャンパスの植物・昆虫」  
上から「エヒメアヤメ」、「ユキノシタ」、「トケイソウ」、  
「サギソウ」、「フジバカマとアサギマダラチョウ」

裏表紙の写真 「キャンパスの四季」  
左上「ウワミズザクラ」、右上「ゲッカビジン」、  
下「広島大学フェニックスタワーにかかる虹」

## 理念

理念5原則の下に、国立大学としての使命を果たします。

- 平和を希求する精神
- 新たなる知の創造
- 豊かな人間性を培う教育
- 地域社会・国際社会との共存
- 絶えざる自己変革

(1995年10月17日策定)

## 環境基本理念

地球環境を保全し、持続可能な社会を構築することは21世紀の人類最大の課題であるとの認識に立ち、単に環境負荷削減に取り組むだけでなく、教育・研究・社会貢献を中心とした大学の全ての活動・行動を通じて、地域社会・国際社会との連携の中で環境負荷削減に取り組み環境保全に貢献するよう努める。

(2006年5月23日策定)

## 行動方針

- 大学内外における環境教育を通じて、環境に対する高い問題意識と知識をもつ人材を育成する。
- 地域・地球環境の保全、持続可能な社会の構築に向けた先進的・実践的な研究を推進する。
- 大学が蓄積し、創造してきた知的財産を広く社会に還元し、地域社会・国際社会における環境保全活動に貢献する。
- 全ての活動において、環境関連法令を遵守し、環境負荷の削減と自然環境の保全に努める。
- 環境報告書を通じて、広島大学の環境に関する取組を積極的に公開し、社会との共生を図る。

(2006年5月23日策定)

# 大学概要

2020年5月1日現在

## ▶ 名称

国立大学法人広島大学

## ▶ 所在地

広島県東広島市鏡山一丁目3-2

## ▶ 学長

越智 光夫

## ▶ キャンパス

東広島キャンパス（東広島市鏡山）  
霞キャンパス（広島市南区霞）  
東千田キャンパス（広島市中区東千田町）  
他（13ページ参照）

## ▶ 学部等数

学部：12  
研究科：4  
専攻科：1  
附置研究所：1  
病院：1  
附属学校園：11

## ▶ 学生数

学部：10,678人  
大学院：4,513人  
専攻科：26人  
研究生等：446人  
附属学校園：3,773人

## ▶ 職員数

役員：11人  
教員：1,831人  
職員：1,724人

# 地区別施設等状況

2021年4月1日現在

地区	区分	建物 (m <sup>2</sup> )	土地 (m <sup>2</sup> )
東千田	人間社会科学研究科, 平和センター ほか	14,726	18,470
霞	医系科学研究科, 原爆放射線医科学研究所, 病院, 自然科学研究支援開発センター, 図書館 ほか	213,545	144,700
東広島	人間社会科学研究科ほか2研究科, 専攻科, 全国共同利用施設, 学内共同教育研究施設等, 附属幼稚園, 図書館 ほか	361,178	2,492,191
小計 (主要3キャンパス)		589,449	2,655,361
翠	附属小学校・中学校・高等学校	19,173	66,231
東雲	附属東雲小学校・中学校	8,972	41,387
三滝	医学部 (日涉園)	0	1,428
宮島	統合生命科学研究科 (附属宮島自然植物実験所)	576	102,076
西条三永	西条共同研修センター ほか	1,382	111,469
竹原	統合生命科学研究科 (附属瀬戸内圏フィールド科学教育研究センター)	1,322	4,268
三原	附属三原幼稚園・小学校・中学校	10,050	41,723
向島	統合生命科学研究科 (附属臨海実験所)	1,558	21,197
春日	附属福山中学校・高等学校	12,534	61,426
呉	生物生産学部 (附属練習船基地)	841	2,675
サイエンスパーク	産学・地域連携センター・イノベーションプラザ	4,755	8,598 (6,499)
下三永(東広島天文台)	宇宙科学センター	479	(1,985)
その他	一般管理施設 ほか	18,546	20,479
小計 (主要3キャンパス以外)		80,188	482,957
合計		669,637	3,138,318

( )内は借り上げ財産を外数で示す。

# 環境管理体制

## ● 環境マネジメントシステムの状況

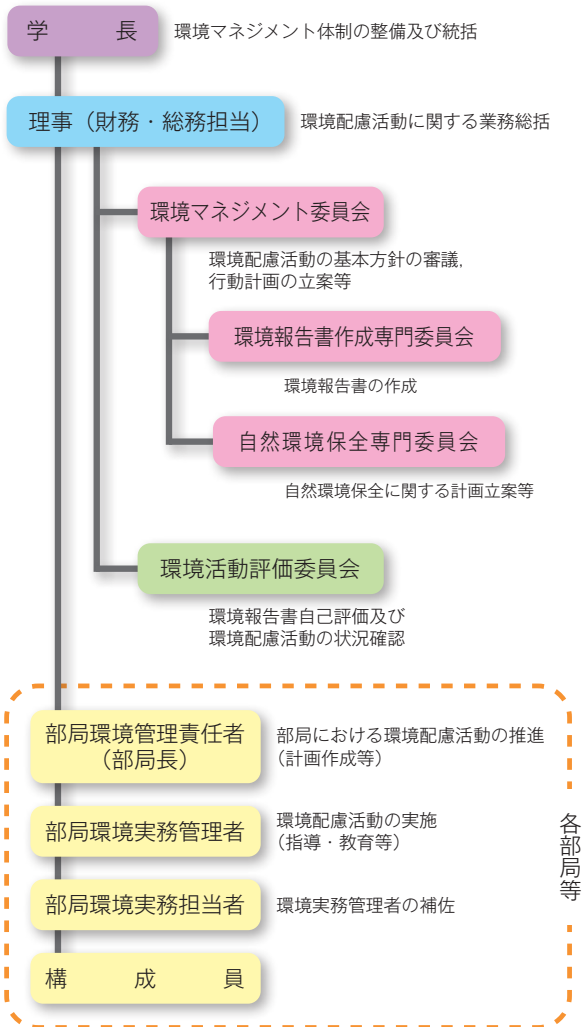
広島大学では、学長をトップとする環境マネジメントシステムを構築しています。2011年4月1日から「広島大学環境マネジメント規則」を制定し、環境配慮活動における責任の所在を明確にし、内部統制のとれた体制を確立することを目的として学長、理事及び部局長の責務を明確にしました。

また、2012年3月には、「広島大学環境活動評価委員会内規」「環境マネジメント実施要領」を制定し、それぞれの役割を具体的に明文化しました。

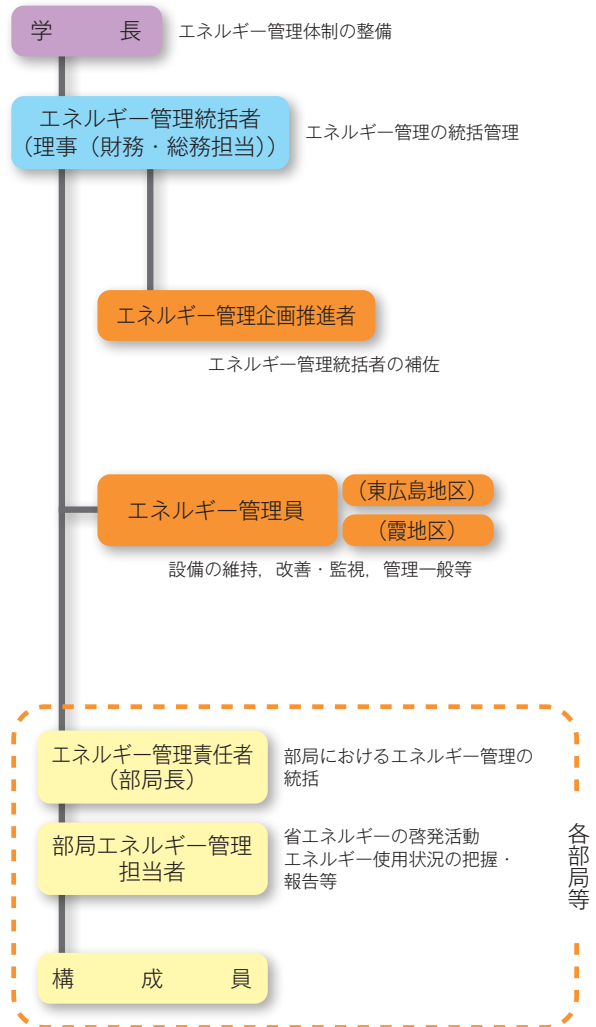
さらに、2013年3月には、学内の自然環境保全における様々な問題を検討・解決していくため、新たに自然環境保全専門委員会を設置しました。併せて、既存の委員会組織を見直し、環境配慮活動に関する計画立案を担っていた環境配慮対策検討専門委員会を廃止し、環境マネジメント委員会が環境配慮活動の基本方針から実施方策及び具体的な活動の企画立案までを担当することとしました。

なお、環境に関する組織体制は3系統あり、全体としての環境マネジメントの他に省エネ法に対応したエネルギー管理体制、労働安全衛生法に対応した安全衛生管理体制があります。

## ● 環境マネジメント体制



## ● エネルギー管理体制



# 環境活動（2020年度の実績）

## 環境教育・研究の推進

- 環境関連の基礎的研究、応用的研究を推進しました。2020年度に研究のトピックとして、「オオサンショウウオの特殊な頭骨形成過程を世界で初めて報告」、「メカノケミカル法を用い、精密に光触媒を合成するプロセスを開発—環境低負荷での簡便なプロセスによる可視光活性光触媒の合成を実現—」等が発表されました。
- 教養教育、専門教育における環境関連講義を実施しました。広島大学公開講座2020としてSDGsと東広島、瀬戸内海の海の生き物学等の環境関連講義を行いました。
- 環境安全センターによる教職員及び学生に対する実験廃液取り扱い講習を行い、2020年度においてはオンライン講習を含めたべ約900名の参加者に対して実施しました。

## 社会貢献の推進

- 本学では、2020年4月に、東広島市と共同で、Town & Gown Office 準備室を設置し、企業の参画も得て、大学が持つ科学技術・イノベーションの社会実装により社会課題の解決に取り組み、持続的な地域の発展と大学の進化をともに目指す「Town & Gown 構想」を進め、2021年1月26日に広島大学「カーボンニュートラル×スマートキャンパス5.0 宣言」を行いました。宣言では、政府の目標より20年前倒しの2030年までにキャンパスで使うエネルギーのカーボンニュートラルとSociety5.0を実現したスマートキャンパス5.0を実現することを表明しました。2050年カーボンニュートラルに向けて、グリーン社会の実現のための最先端技術の開発や実用化、先行的な脱炭素地域の創出などが求められています。世界に先駆けての脱炭素社会の実現を目指し、研究・教育、国際展開をはじめ、本学の姿勢をこの機会に明確にすることで、自治体や企業の皆様を巻き込みながら、世界の中で本学の価値を高めていきます。
- 広島大学と呉工業高等専門学校は11月28日、呉市及び関係機関等のご協力のもと、新時代の新しい交通手段として期待される「グリーンスローモビリティ」を活用した実証実験を開始しました。

この実証実験は、地域が抱える交通の課題解決に向けて、低炭素型の新しい交通手段の利用可能性を検証することを目的としています。

呉市では、古くから山の斜面に住宅地が広がっており、道路の狭さから自動車による往来が困難になっている地域があります。そのような地域と呉駅や商店街などとの往来の手段として運転手を含めて4人乗りの電動カート「グリーンスローモビリティ」を走行させ、住民の反応や交通手段とする際の課題の検証を行いました。

## ● 自然環境の保全

- 東広島キャンパスは、約250ha という広大な面積を有し、キャンパス単体では国立大学で三番目の敷地面積を誇るエコキャンパスです。2012年からスタートした生物相調査では、62種（2020年現在）の絶滅危惧動植物の生息を確認しました。この生息数は国立大学のキャンパスでは全国1位の数です。

広島大学総合博物館や東広島植物園（旧植物管理室）の教職員およびボランティア学生等が協力して、東広島キャンパスの樹木にネームプレートを取り付けるプロジェクトをスタートし、学生や教職員が協力して35本の樹にプレートを取り付けました。

東広島キャンパスでは、2020年現在で約127種5,545本の樹木が植栽されています。これらの多種多様な樹木は、季節の移り変わりに伴って様々な花を咲かせ、実をつけ紅葉し、日本固有の自然や季節、文化を知るうえで本学の教職員、学生、留学生にとって大切な教育的資源となっているほか、地域の皆様にも親しまれています。

- 東広島キャンパス 西図書館周辺に、強い芳香の「駿河台匂」や江戸時代から栽培されている「楊貴妃」など8種23本の桜の苗木の植え付けを行いました。小雨の降る中集まった18人の有志の学生・教職員らは、広島大学 東広島植物園の技術専門員の指導の下、苗木を1本ずつ大切に植え付けました。その後、学名および和名とともに、広島大学デジタル自然史博物館の詳細な情報にアクセスできるQRコードのついたプレートの取り付けも行いました。

## ● ESCO (Energy Service Company) 事業

老朽化した空調熱源機器などを民間の資金及び技術力を活用して省エネ型に改修し、機器等の改修費用については光熱水費の削減分で賄います。

ESCO 事業のメリットは老朽化した空調熱源機器等の改修費用について初期費用が不要（外部資金を充当）で改修費用については、光熱水費削減分で賄います。

霞キャンパスにおいて、ESCO 事業を実施し、削減量109%を達成しました。

また省エネ機器導入に伴うCO<sub>2</sub>排出量3,134t-CO<sub>2</sub>/年の削減になります。

# 環境負荷削減

## エネルギー消費状況と取組

本学は、主として教育・研究部門の東広島キャンパス及び教育研究・医療部門を持つ霞キャンパスの2つの第一種エネルギー管理指定工場等並びに附属学校・附属研究施設等を含めた合計19のキャンパス及び地区からなる特定事業者であり、エネルギーの使用の合理化等に関する法律（省エネ法）、地球温暖化対策の推進に関する法律（温対法）並びに広島県・広島市条例により、エネルギー消費の削減努力義務と省エネ推進状況等の定期報告が義務づけられています。

エネルギー消費削減活動を全学的に推進するため、省エネ法及び関係条例に基づく削減計画・削減目標及び本学の環境目標におけるエネルギー使用量の具体的な削減目標を掲げ、環境負荷削減に取り組んでいます。

### エネルギー消費状況（基準年度：2015年度）

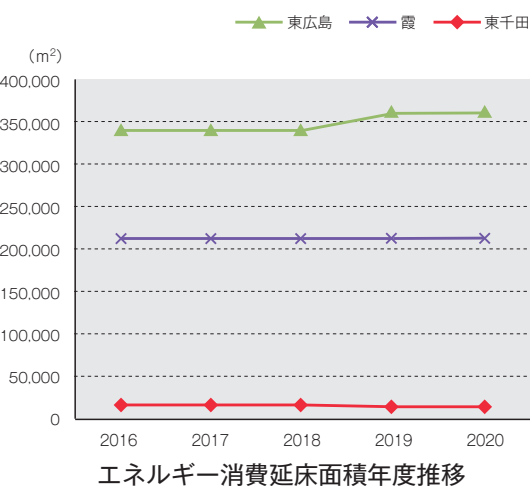
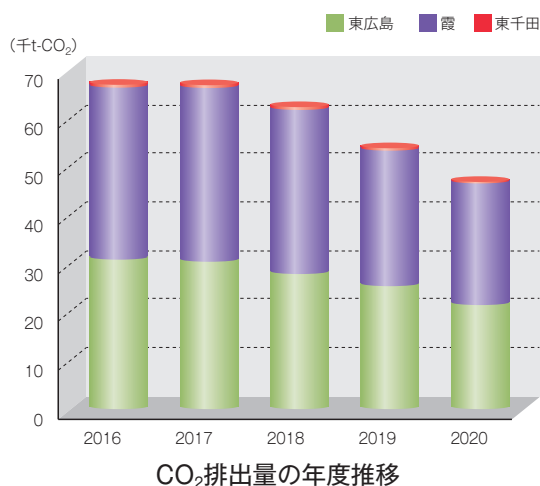
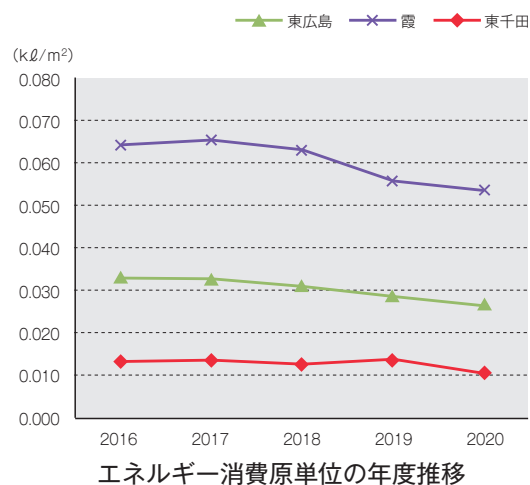
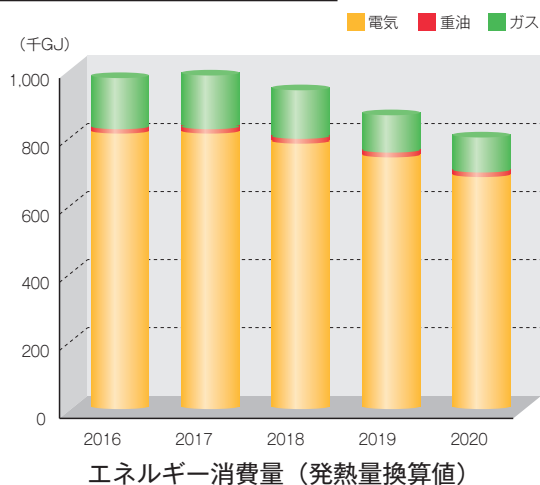
全学エネルギー消費の約96%を占める主要3キャンパス（東広島・霞・東千田）の2020年度実績は、エネルギー消費量（原油換算値）<sup>\*1</sup> では、前年度比7.46%の削減、基準年度比15.91%削減でした。

環境目標で前年度比1%削減と定めている全学のエネルギー消費原単位<sup>\*2</sup> は、前年度比4.99%の削減、基準年度比15.42%減となり、削減目標を達成することができました。これは2019年度に引き続き霞団地管理一体型 ESCO 事業を実施していることにより、空調熱源設備を省エネ型に更新し、設備の最適化運転を行ったことが要因と考えられます。また、コロナ禍による活動制限があったことも一因と考えられます。

<sup>\*1</sup> 原油換算値 (kℓ)：各エネルギー（電力・ガス・重油）消費量に定められた熱量換算係数及び原油換算係数を乗じた値。

<sup>\*2</sup> エネルギー消費原単位 (kℓ/m<sup>2</sup>)：各エネルギー（電力・ガス・重油）消費量を原油換算し、対象建物の延床面積で除した値。

#### 主要3キャンパスの実績



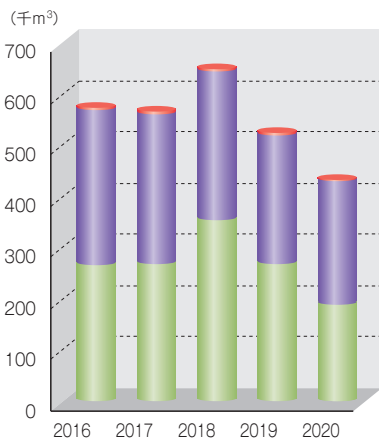


## ● 水投入量と削減対策

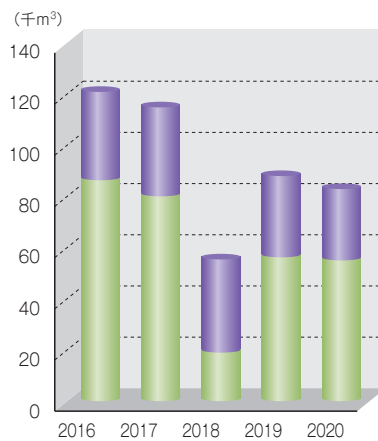
本学が行っている教育、研究、診療等の事業活動に伴って使用した水は、11ページの「2020年度の全学物質収支量」に示すとおりです。基本的には地方公共団体から供給される上水を使用していますが、東広島キャンパス及び霞キャンパスでは、水の循環的利用として中水及び雨水を処理し、再利用水として樹木の散水等で利用しています。

2020年度の環境目標の一つとして、水使用量を2012年度実績より削減することを掲げ、全学を挙げて水使用量の削減に努めました。具体的には、各部局等における節水啓発ポスターの掲示、教授会等による周知徹底、実験用冷却水循環装置の利用等の活動を実施しました。大学全体として、2012年度比32.1%減少という結果になりました。これはコロナ禍による活動制限も大きく影響していると考えられます。

### 主要3キャンパスの水使用量及び排水量

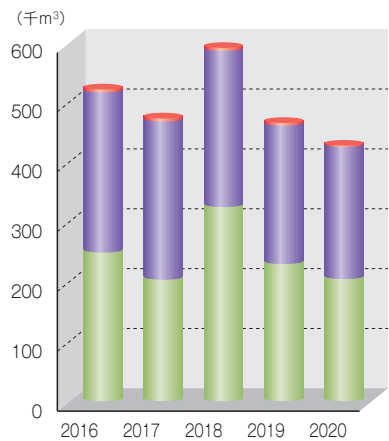


上水使用量



再利用水使用量  
(=中水使用量+雨水使用量)

(凡例：■東広島 ■霞 ■東千田)

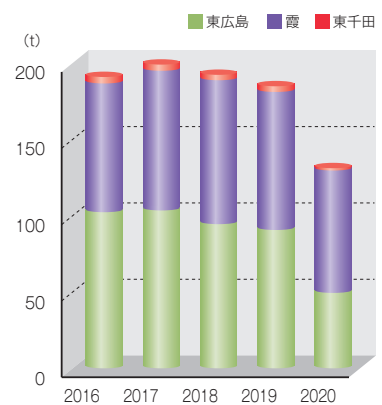


下水(排水)量

## ● コピー用紙購入量と削減対策

本学の教育、研究、診療等の事業活動に伴って使用するコピー用紙は、一年間で152,779kgでした。2020年度の環境目標の一つとして、コピー用紙を2014年度及び2019年度実績より削減することを掲げ、各部局において使用量削減対策に取り組みました。

具体的には、会議録の学内ポータルサイト掲載、タブレット型情報端末等を利用したペーパーレス会議の導入による配付資料の削減、パソコンの印刷設定変更による両面コピー・集約コピーの徹底などの活動を継続的に実施しましたが、大学全体としては、2014年度比で28.1%の減と2019年度比で25.9%の減という結果になりました。これはコロナ禍による活動制限も大きく影響していると考えられます。



主要3キャンパスの  
コピー用紙購入量

# 環境負荷削減

## ● 廃棄物発生量と削減対策

本学の教育、研究、診療等の事業活動に伴って排出される廃棄物は、可燃ごみ、生活系プラスチック類などの一般廃棄物、実験・研究等で使用したプラスチック類などの産業廃棄物や、実験・研究等で発生した廃液、感染性産業廃棄物等などの特別管理廃棄物があります。2020年度の廃棄物（一般廃棄物、産業廃棄物、特別管理廃棄物）の量は、11ページの「2020年度の全学物質収支量」に示すとおりです。

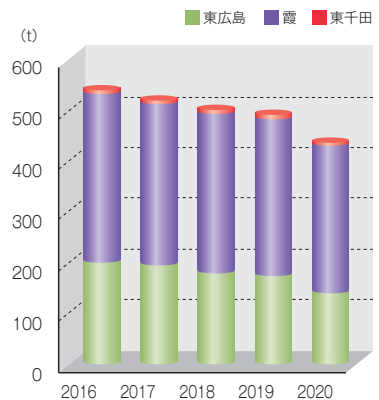
廃棄物については、環境目標に「廃棄物の削減と資源化の推進」を掲げ、2020年度は、「資源化促進による可燃ごみ排出量の削減」を主テーマとして、「2019年度比1%削減」「2021年度までに2008年度実績まで削減」を目標として努めてまいりました。この目標を達成するために「可燃ごみに混ざった資源ごみの分別指導の徹底」「学内掲示板（いろは）を利用した不要物品の有効活用推進」「ポスター等による啓発活動」等により、可燃ごみ削減と紙の再資源化の促進に努めました。

東広島地区においては、可燃ごみのうちの紙ごみについては、機密扱いのものについてはシュレッダー処理し破砕紙として、新聞紙、雑誌、段ボールや包装紙等については取りまとめて回収し、リサイクル業者へ売却を行い、さらに、ペットボトルのリサイクルについても実施しており、ごみの削減に努めました。

また、可燃ごみ排出量を削減するために、8ページにあるように、コピー用紙の削減対策として、会議録の学内ポータルサイト掲載、タブレット型情報端末等を利用したペーパーレス会議の導入による配付資料の削減、パソコンの印刷設定変更による両面コピー・集約コピーの徹底などの活動を継続的に実施しています。

さまざまな取組の結果として、可燃ごみ廃棄量は2008年度比で14.3%減になりましたが、2019年度比では11.2%減になりました。例年より大きい削減幅はコロナ禍による活動制限が影響していると考えられます。

「混ぜればごみ、分ければ資源」の言葉通り、ごみは出す人がきちんと分別すれば、資源として再利用することができますし、廃棄物の削減にもつながります。今後とも、ごみの分別についての啓発活動をより一層徹底し、廃棄物の減量及び再資源化に努めます。



主要3キャンパスの可燃ごみ廃棄量

### ごみの分け方・出し方

まぜればごみ 分ければ資源

平日に各集積場のルールにより出してください

**紙ごみ** (資源物)

- リサイクル (売払い)
- 機密扱いのコピー用紙等は、シュレッダー処理して、破砕紙とともに売払いに出してください。
- 新聞紙・チラシ
- 雑誌・包装紙・封筒類
- シュレッダーごみ
- 機密不要のコピー用紙
- 段ボール

**可燃ごみ** (燃物)

- 食品類
- ペットボトル
- 紙類
- その他

**不燃ごみ** (燃物)

- プラスチック類
- ガラス類
- その他

**資源ごみ** (燃物)

- 紙類
- ペットボトル
- シュレッダーごみ
- その他

ごみ分別ポスター (東広島キャンパス)

### ごみの分け方・出し方

まぜればごみ 分ければ資源

ルールを守って出してください

**可燃ごみ** (燃物)

- 食品類
- ペットボトル
- 紙類
- その他

**不燃ごみ** (燃物)

- プラスチック類
- ガラス類
- その他

**資源ごみ** (燃物)

- 紙類
- ペットボトル
- シュレッダーごみ
- その他

ごみ分別ポスター (霞キャンパス)

### 紙ごみの分け方・出し方

まぜればごみ 分ければ資源

**機密扱いの紙 (売払い)**

- 個人情報記載の紙
- シュレッダーにかけて透明又は半透明のビニール袋に詰め

**雑誌・包装紙・封筒類 (売払い)**

- 雑誌
- 包装紙
- 封筒類
- シュレッダーごみ

**新聞紙・チラシ・段ボール (売払い)**

- 新聞紙
- チラシ
- 段ボール

紙ごみ分別ポスター

(ポスター掲載先 URL : <https://www.hiroshima-u.ac.jp/about/initiatives/kankyō>)

## ● マテリアルバランス

本学は、広島県下に27地区（宿舍専用地区を含む）、土地面積3,138,533㎡、建物施設延べ面積665,251㎡を有する大規模な事業所であり、その中で約23,000人の構成員が、教育・研究・診療・社会貢献等の事業活動を行う過程で、多くのエネルギー等を投入（INPUT）し、温室効果ガス等、環境に負荷を与える物質を排出（OUTPUT）しています。下表に、2020年度の全学物質収支量をまとめました。また、水の循環利用（中水・雨水）や古紙回収による資源化など、循環的利用を行っている物質量についても併せて示しています。

次ページに示す表は、主要3キャンパス（東広島キャンパス、霞キャンパス、東千田キャンパス）の物質収支量について、過去5年分の年度推移を記載しています。

### 2020年度の全学物質収支量

#### INPUT

種類	種別	合計
エネルギー (熱量換算)	電気	730,490 GJ
	重油	13,138 GJ
	ガス	105,667 GJ
水	上水	460,480 m <sup>3</sup>
物質	コピー用紙	152,779 kg

#### OUTPUT

種類	種別	合計
エネルギー	温室効果ガス*1	48,462 t-CO <sub>2</sub>
水	下水	456,994 m <sup>3</sup>
物質	一般廃棄物	813,493 kg
	産業廃棄物	2,096,209 kg
	特別管理 産業廃棄物	779,151 kg

#### REUSE・RECYCLE

種類	種別	合計
水	中水使用量	77,677 m <sup>3</sup>
	雨水使用量	4,943 m <sup>3</sup>
物質	古紙回収量*2	118,811 kg

\*1 温室効果ガスの排出量は、2020年度排出係数で算出

\*2 廃コピー用紙を回収し、製紙工場に搬入する量及び破砕紙を資源化物として売り払った量。

### ▶ グリーン購入について

本学では、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」（グリーン購入法）に基づき、年度ごとに環境物品等の調達の推進を図るための方針（調達方針）を定めています。

2020年度においても、環境に配慮した物品等の調達目標を掲げ、物品等を納入する事業者、役務の提供事業者、公共工事の請負事業者等に対しても、事業者自身が本学の調達方針に準じたグリーン購入を推進するよう働きかけを行うなど、グリーン購入の推進を図りました。

その結果、調達総量に対する基準を満足する物品等の調達量の割合により目標設定を行う品目については、当初の年度調達目標（100%）を達成し、その他の物品・役務の調達に当たっても、できる限り環境への負荷の少ない物品等の調達に努めました。

# 環境負荷削減

主要3キャンパスの物質収支量年度推移（2016年度～2020年度）

東広島	収支	種別	2016	2017	2018	2019	2020	目標	
	INPUT	電気 (GJ)		399,473	394,334	371,017	363,374	338,875	2015年度比△12.8%
		重油 (GJ)		13,473	15,441	14,506	14,459	13,138	
		ガス (GJ)		21,959	22,886	23,516	22,352	18,062	
		上水 (m <sup>3</sup> )		264,794	266,913	352,239	266,066	187,778	2012年度より減
		コピー用紙 (kg)		102,667	103,861	94,912	90,972	49,693	2014年度及び2019年度より減
	OUTPUT	排水 (下水) (m <sup>3</sup> )		247,735	202,611	324,193	228,779	203,789	
		一般廃棄物 (kg)		234,583	229,225	212,117	202,910	153,979	可燃ごみ2008年度より減及び2019年度比△1%
		産業廃棄物 (kg)		542,359	742,248	592,369	856,012	1,848,747	
		特別管理産業廃棄物 (kg)		37,047	30,780	19,363	21,781	26,282	
温室効果ガス (t-CO <sub>2</sub> )			30,784	30,352	27,811	25,307	21,447		
循環利用	中水使用量 (m <sup>3</sup> )		86,060	79,816	18,892	55,942	54,827	再利用の促進	
	雨水使用量 (m <sup>3</sup> )		中水に合算	中水に合算	中水に合算	中水に合算	中水に合算	〃	
	古紙回収量 (kg) *1		52,837	49,458	51,340	26,635	50,780		

霞	収支	種別	2016	2017	2018	2019	2020	目標	
	INPUT	電気 (GJ)		401,732	406,149	401,508	369,365	357,857	2015年度比△14.5%
		重油 (GJ)		51	0	0	0	0	
		ガス (GJ)		128,644	134,137	119,596	85,998	85,050	
		上水 (m <sup>3</sup> )		301,851	291,819	289,824	251,338	240,607	2012年度より減
		コピー用紙 (kg)		84,474	91,714	94,505	90,767	80,374	2014年度及び2019年度より減
	OUTPUT	排水 (下水) (m <sup>3</sup> )		267,479	264,284	260,475	231,012	220,440	
		一般廃棄物 (kg)		612,693	587,606	611,182	615,036	562,196	可燃ごみ2008年度より減及び2019年度比△1%
		産業廃棄物 (kg)		202,774	269,801	258,800	305,146	232,509	
		特別管理産業廃棄物 (kg)		895,200	786,395	757,722	732,451	752,665	
温室効果ガス (t-CO <sub>2</sub> )			35,447	35,788	33,814	27,947	25,041		
循環利用	中水使用量 (m <sup>3</sup> )		26,936	26,779	30,301	25,215	22,850	再利用の促進	
	雨水使用量 (m <sup>3</sup> )		7,425	7,815	5,990	6,541	4,943	〃	
	古紙回収量 (kg)		58,180	60,790	65,590	66,470	65,950		

東千田	収支	種別	2016	2017	2018	2019	2020	目標	
	INPUT	電気 (GJ)		8,259	8,377	7,807	7,351	5,773	2015年度比△20.3%
		重油 (GJ)		0	0	0	0	0	
		ガス (GJ)		496	589	542	597	270	
		上水 (m <sup>3</sup> )		4,671	5,029	4,882	4,762	2,388	2012年度より減
		コピー用紙 (kg)		4,562	4,165	3,679	3,771	1,585	2014年度及び2019年度より減
	OUTPUT	排水 (下水) (m <sup>3</sup> )		4,671	5,029	4,882	4,762	2,388	
		一般廃棄物 (kg)		19,981	19,048	17,273	17,737	12,769	可燃ごみ2008年度より減及び2019年度比△1%
		産業廃棄物 (kg)		1,000	5,183	5,140	10,870	0	
		温室効果ガス (t-CO <sub>2</sub> )		602	610	551	485	338	
循環利用	古紙回収量 (kg)		974	630	600	2,080	563		

\*1 2013年4月から古紙回収事業を破砕紙の資源化物売払いに移行しました。

\*2 破砕紙を資源化物として売払いした量

# 環境報告書ガイドライン(2018)との対照表

このガイドラインに記載された2分野12項目と、本報告書の記載内容との対照表は以下のとおりです。

環境報告ガイドラインにおける項目		掲載頁
環境報告書の基礎情報		
環境報告の基本要件	報告対象組織	1
	報告対象期間	1
	基準ガイドライン等	1
	環境報告の全体像	1
主な実績評価指標の推移	主な実績評価指標の推移	—
環境報告の記載事項		
経営責任者のコミットメント	重要な環境課題への対応に関する経営責任者のコミットメント	5
ガバナンス	事業者のガバナンス体制	4
	重要な環境問題の管理責任者	4
	重要な環境課題の管理における取締役会及び経営業務執行組織の役割	—
ステークホルダーエンゲージメントの状況	ステークホルダーへの対応方針	5-11
	実施したステークホルダーエンゲージメントの概要	5-11
リスクマネジメント	リスクの特定、評価及び対応方法	—
	上記の方法の全体的なリスクマネジメントにおける位置付け	—
ビジネスモデル	事業者のビジネスモデル	—
バリューチェーンマネジメント	バリューチェーンの概要	—
	グリーン調達の方針、目標・実績	10
	環境配慮製品・サービスの状況	—
長期ビジョン	長期ビジョン	5
	長期ビジョンの設定期間	5
	その期間を選択した理由	5
戦略	持続可能な社会の実現に向けた事業者の事業戦略	5
重要な環境課題の特定方法	事業者が重要な環境課題を特定した際の手順	4
	特定した重要な環境課題のリスト	5-11
	特定した環境課題を重要であると判断した理由	5-11
	重要な環境課題のバウンダリー	—
事業者の重要な環境課題	取組方針・行動計画	2
	実績評価指標による取組目標と取組実績	7-11
	実績評価指標の算定方法	7-11
	実績評価指標の集計範囲	7-11
	リスク・機会による財務的影響が大きい場合は、それらの影響額と算定方法	—
	報告事項に独立した第三者による保証が付与されている場合は、その保証報告書	—

# キャンパスマップ



- |   |                        |                       |                        |
|---|------------------------|-----------------------|------------------------|
| <b>1</b> 東広島キャンパス                             | <b>2</b> 霞キャンパス        | <b>3</b> 東千田キャンパス     | <b>4</b> 翠地区（附属学校）     |
| <b>5</b> 東雲地区（附属学校）                           | <b>6</b> 宮島地区（自然植物実験所） | <b>7</b> 呉地区（練習船基地）   | <b>8</b> 西条三永地区（総合運動場） |
| <b>9</b> サイエンスパーク地区（産学共同研究オフィス、インキュベーションオフィス） |                        |                       |                        |
| <b>10</b> 竹原地区（瀬戸内圏フィールド科学教育研究センター）           | <b>11</b> 三原地区（附属学校）   | <b>12</b> 向島地区（臨海実験所） |                        |
| <b>13</b> 春日地区（附属学校）                          | <b>14</b> 東広島天文台       | <b>15</b> 呉サテライト      | <b>16</b> 福山サテライトオフィス  |
| <b>17</b> 東広島地区（附属学校）                         |                        |                       |                        |

## ■ 東広島キャンパスの学部・研究科

- ・ 総合科学部
- ・ 文学部
- ・ 教育学部
- ・ 法学部（昼間コース）
- ・ 経済学部（昼間コース）
- ・ 理学部
- ・ 工学部
- ・ 生物生産学部
- ・ 情報科学部
- ・ 大学院人間社会科学研究科
- ・ 大学院先進理工系科学研究科
- ・ 大学院統合生命科学研究科

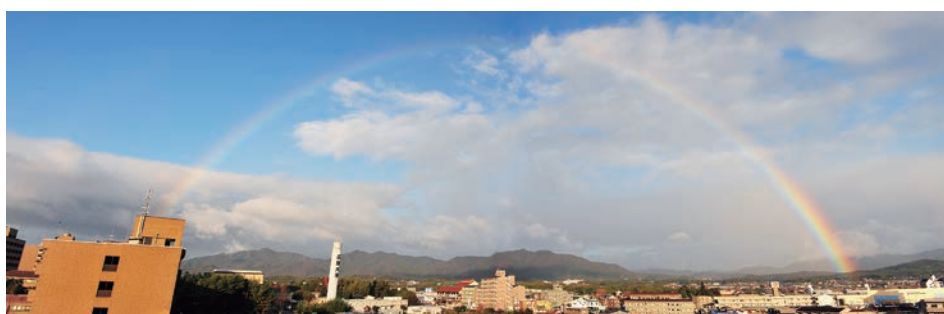
## ■ 東千田キャンパスの学部・研究科

- ・ 法学部（夜間主コース）
- ・ 経済学部（夜間主コース）
- ・ 大学院人間社会科学研究科

## ■ 霞キャンパスの学部・研究科等

- ・ 医学部
- ・ 歯学部
- ・ 薬学部
- ・ 大学院医系科学研究科
- ・ 原爆放射線医科学研究所
- ・ 病院





# Environmental Report 2021

お問い合わせ先

国立大学法人広島大学 財務・総務室 施設部 施設企画グループ

TEL : 082-424-6102



HIROSHIMA UNIVERSITY